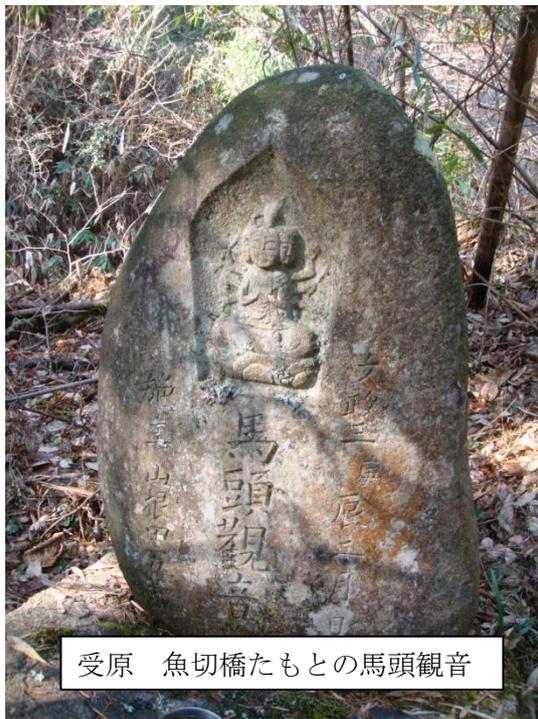


## 馬頭観音（ばとうさん）

- ① 本来は、六道の一つ畜生界にある人々を救う馬頭観世音ではあるが、頭上に馬頭を頂いているので、牛馬の供養塔に使われだしたのではないかとされている。八幡の路傍にも、無数の馬頭さんが祀られているが、頭部を見れば馬らしき物が刻んであるので丸坊主姿の石地藏とはすぐ見分けが付く。三面六臂の像が正統ではあるが、一面二臂の像が多い。
- ② 農家にとっては、家族の一員として年中働いてくれた牛馬に対しての愛着は言葉に言い尽くされぬものがあった。感謝の気持から、馬頭観音を自然に刻まれたものと思える。当地に無数に有る馬頭さんを、無視してはならない。旧墓に人の墓石と一緒に馬頭さんがよく並んでいるのもうなづける。



受原 魚切橋たもとの馬頭観音

施主	馬頭観音	文政三 庚辰二月 日
山根田万蔵		